

文書館開館1周年記念シンポジウム  
「戦後70年の記憶をつなぐ—文書館所蔵史料が語る戦争と市民生活—」

—文書館所蔵史料が語る  
戦争と市民生活—  
**戦後70年の  
記憶をつなぐ**

常陸大宮市文書館  
開館1周年記念シンポジウム  
上廣歴史文化フォーラム  
平成27年**11月29日(日)**  
**13時~17時**  
入場無料 ※事前申込み不要

緒川総合センター文化ホール  
〒319-2401 常陸大宮市上小瀬1259  
TEL 0295-56-5111

戦後70年の節目となる今年、常陸大宮市文書館は開館1周年を迎えました。地域の記憶を保存し公開するのがわたしたち文書館の大きな役割のひとつです。二度と繰り返してはならない戦争の記憶を風化させず、未来につないでいくため、当館の所蔵する役場文書や地域史料からみた地域の戦争の実相について考えます。

シンポジウムで使用した資料を文書館で展示します  
期間 11月29日(日)~平成28年1月31日(日)

講演

「目から鱗が落ちる地域アーカイブズを楽しむ」

国文学研究資料館名誉教授  
高橋 実 氏

「村役場の公文書にみる戦争の終結

—八里村と玉川村の事例を中心に—  
筑波大学図書館情報メディア系教授  
白井 哲哉 氏

「アジア・太平洋戦争と常陸大宮

—八里村役場文書から見えてくるもの—  
茨城大学人文学部准教授  
佐々木 啓 氏

パネルディスカッション

「地域史料としての戦争資料—その見方、使い方—」

防空壕跡(北町・倉田家)



主催：常陸大宮市教育委員会 共催：公益財団法人上廣倫理財団 後援：文化庁 常陸大宮市  
常陸大宮市文書館 TEL 0295-52-0571 FAX 0295-52-0851